

§ 3 結核予防

本市の結核対策は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、健康診断・予防接種・患者管理・医療費公費負担と、一貫した体系の中でその対策を図っている。結核対策事業として、結核対策推進会議、各種研修会・講演会、結核ハイリスクグループを対象とした検診等を実施しているほか、結核患者に対してDOTS（直接服薬確認療法）を実施し、治療中断・失敗による結核のまん延防止対策を図っている。

また、結核感染症サーベイランス事業により、結核登録者の患者情報を全国的な規模で迅速に解析・還元するコンピュータ・オンラインシステムが確立されている。

表 90 結核健康診断予防接種実施状況

定期的健康診断は、事業者、学校長、施設長及び市長が実施義務者となっている。

接触者等健診は、患者家族及びその他結核のまん延のおそれのある者について市長が実施している。

結核感染の有無の検査法として、IGRA検査（QFT検査、T-spot、TB検査）が第一優先と位置づけられている。

平成29年度

区 分	実施者	対象者	受診者数	内 訳						
				X線検査			ツベルクリン反応検査		IGRA検査	
				検査者数	要医療者数	要医療率	検査者数	陽性者数	検査者数	陽性者数
定 期	市 長	市 民	71	71	－	－	－	－	－	－
	学 校 長	高 校	5,405	5,405	－	－	－	－	－	－
		大 学（短大）	8,051	8,051	－	－	－	－	－	－
		そ の 他	1,022	1,022	2	1.96	－	－	－	－
	施 設 長	施 設 入 所 者	3,836	3,836	－	－	－	－	－	－
	事 業 者	事 業 所 従 事 者	38,938	38,938	1	0.03	－	－	－	－
接 触 者	市 長	患 者 家 族	368	212	2	5.43	10	2	230	23
		そ の 他	1,476	600	2	1.36	17	3	1069	74
患 者 管 理	保 健 所 長	登 録 患 者	294	265	－	－	－	－	－	－

注) 要医療率: 受診者千対

IGRA検査陽性者数: 日本結核病学会予防委員会「インターフェロンγ遊離試験使用指針」による陽性者数

資料: 感染症対策課